

対外試合の開催にむけて 感染症対策ガイドライン 豊崎 ver

2020.7.10

生活指導部

○対外試合は本校の生徒にとっても重要なものであると同時に、非常にリスクを伴うものであるため、細心の注意を払って、実施するものとする。

(1)生徒の健康チェックについて

- ①本校における土日祝の部活動であっても、普段の登校時に提出させている「健康観察表」の提出をさせるよう、各部の顧問からの指導を徹底する。提出がない場合は検温をおこなう。
- ②土日祝に校外へ出る場合も、集合場所等で「健康観察表」を確認する。万が一に備え、検温の準備をしておく。
- ③生徒に発熱等の症状があった場合、保護者への連絡が必要である。連絡がとれるように、各顧問が対応策を持っておく。
- ④部活動を終了し、解散・下校する際にも顧問は生徒の健康状態を確認し、把握しておく。必要に応じて保護者に連絡をする。

(2)活動環境への配慮

I 本校での活動

- ①複数での登下校時はマスクを着用させるよう指導する。運動時、または楽器演奏時などを除いて、マスクを着用させることを常に意識しておく。
- ②活動終了時は普段以上に消毒作業を念入りに行う。他校が使用した更衣場所やベンチ等の消毒も同様に行う。
- ③来校する顧問に本校の配慮の態勢(手洗い場所や更衣場所、更衣の人数など)を明確に示し、生徒にも周知徹底するよう協力を求める。
- ④来校した引率者、生徒の「健康の記録一覧表」の作成と提出を求める。
- ⑤本校での対外試合の場合、本校の「健康の記録一覧表」を作成しておく。

II 校外での活動

- ①電車やバス等の公共交通機関を利用することがあるが、その際のマスク着用を指導・徹底する。
- ②不測の事態に備えて、予備のマスクを1枚準備するように指導しておく。
- ③慣れない場所での行動となるため、更衣やトイレなどの場面で可能な限り細かな指示を出すよう顧問が準備しておく。そのための会場場所での配慮等をしっかり確認しておく。
- ④手洗いや消毒の機会が減ってしまうことが考えられるので、本校から石鹸等を持っていくなど、対応を考えておく。
- ⑤慣れない場所での行動となるため、生徒の手洗いや更衣等に普段以上の時間がかかってしまうこと

が考えられる。顧問が時間と心に余裕を持って行動する。

- ⑥他校のウォータークーラー等での水分補給はできるだけ避けるよう、熱中症対策を含めて、準備させておく。
- ⑦顧問は感染症対策と熱中症対策の両方を考えておく。

(3)本校での練習試合における保護者への要請

- ①保護者の観覧を許可する場合は、事前に来校する保護者の確認をおこない、「来場者健康状態確認書」の提出を求める。
- ②保護者の練習試合への応援・観戦については以下の通りとする。
 - 野球部⇒南館1階の廊下で観戦していただく。
 - テニス部⇒テニスコートのフェンスの外側から観戦していただく。
 - バスケット部⇒体育館の入り口付近に1人がけのイスを用意し、距離を空けて観戦していただく。
 - 柔道部⇒競技の特性上、密接が避けられないため、相手と組んでの練習等は行わない。
 - 文化部⇒校内での発表会等の機会の際には、顧問同士で相談しあう。
- ③相手校の保護者が観戦を希望する場合は、相手校の顧問を通じてお断りする。
- ④保護者からの差し入れ等で頂いたドリンクなどは、扱いに十分注意し、回し飲みはしないよう指導する。

(4)緊急時の対応

- ①活動中に生徒が発熱した場合などの緊急事態が生じた場合、その生徒の隔離をおこなう。
続いて、その保護者に連絡を入れ、早急に自宅へ帰ることができるよう対応する。さらに管理職へ連絡を入れる。

(5)その他

「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」(第4版)に基づき、活動する。
なお、「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」(第4版)の主な変更点も参照する。

以上